



## 今年度のESDの重点目標（取組）

人を取り巻く環境に対する概念（多様性・相互性・有限性）

### 【令和5年度 ESD 実践報告】

#### 01 ようこそバンコク子ども親善大使の皆様！ 全校で「おもてなし」プロジェクト

今年度、八千代台小学校では5月にバンコク子ども親善大使の訪問があった。「おもてなし」の心を伝えられるよう、全校児童がタイの挨拶の言葉を覚えるために、学級で時間を確保したり、お昼の校内放送で代表児童が呼び掛けを行ったりした。

親善大使の皆様が訪問される当日は、全校児童が日本とタイの国旗を持ち、覚えたタイ語の挨拶をしながらお出迎えをした。交流会では、5年生が日本文化の毛筆を紹介したり、6年生が八千代台小伝統のソーラン節を披露したりした。また、バンコク子ども親善大使の皆様からも民族衣装を身にまとっての素敵な踊りをプレゼントしていただいた。

6年生は、総合的な学習でタイの有名な食べ物、盛んなスポーツなど、自分が興味のあるテーマについて調べ学習を行った。まとめの形式は、ポスターやリーフレット、パワーポイントなどの候補が挙がった。子ども達は、「自分たちが調べたことを、他の学年の人たちにも分かりやすく伝えるには、どの方法がよいだろうか。」と、それぞれ方法のメリットやデメリットを考えながら、まとめを行った。出来上がったまとめを、異学年で紹介をする活動を通して、全校児童がタイのことを知り、興味をもったり、自身の知見を広げたりする大きなきっかけとなった。



子ども親善大使の皆様へ、八千代台小学校の児童からのプレゼント。学年に応じて、メダルやメッセージポスターを作製した。

訪問された子ども親善大使の皆様へ、「おもてなし」の心が伝わるよう笑顔で明るくお出迎えをした。



#### 02 子ども達同士のコミュニケーションを核とした授業改善



全ての教科において、子ども達同士のコミュニケーションを大切にしながら授業が展開できるよう、職員も日々の教材研究に努めた。この数年はコロナ禍により制限のある中で授業を行っていたが、5類への移行に伴い、話し合いやグループ活動を積極的に取り入れたり、タブレットのアプリケーションを有効的に活用したりするなど、学年や学級の実態に合った方法を模索しながら授業を展開した。